

何故に換氣は必要なるか、自然換氣の状態并に缺點……和洋家屋の比較、人工換氣の必要、窓の換氣上の價值、純人工換氣の場合の注意、開放空氣（蒸氣）の付着の注意

一三、特別の部分

a、庖厨

一般注意……芥溜

b、浴室

c、便所

糞尿の危険、便所は専用の事、位置、構造、換氣の採光、汚物の處置

d、庭園

一四、日本家屋の改良

乙 衣服

一、人は何故に衣服を要するか……社会的の必要、體温調節其他二三衛生上の要求から攝食せしむること

二、衣服着用のため起る衛生上の不利益

三、衣服に對する一般的衛生上の要求……上着、下着、冬着、夏着其他特別の衣類につき

四、保温力と衣服材料の織方、形の關係薄着と厚着の利害

五、通氣の必要……通氣に關係ある事項

六、染色の注意

七、濕潤したる衣服
上着并に下着……無染色の利益
濕りたる衣服の衛生上の不利益、材料によりて濕りたる場合の不利益度を異にする事、濕らぬ

用心

八、汚染した衣服

上着と下着の汚れ方、瓦斯を吸收すること、細菌の附着、汚れた衣服の不利益、瓦斯發生（臭氣の發散）通氣の減少、傳温の増加、皮膚病の原因、寄生蟲の發生（蝨半風子）洗濯……注意の事項

九、衣服に附着する病毒

其の危険……急性并慢性傳染病、衣服の消毒

一〇、衣服の形并に着様

壓迫せぬこと、四肢の運動を防げぬこと（動作敏捷）袖や襟の注意（汚物の附着せぬこと）風義上の注意、今日の衣服の缺點

一一、附屬品

帽子、襟卷、袴、靴、下駄

一二、衣服の改良の必要

活動と休養

一、働くことの樂み

働くことが如何に生活體の本性であるか人間が働くことによつて個人として國家として如何に大なる生生を齎らすか將た如何に精神的にも愉快と満足とを感じるか等の點を擧げたいと思ひます

二、能率を擧ぐるには

能率問題に關して一般的に述説し其の重要な意義を實例を擧げて示さうと思ひます

三、疲労と恢復

疲労の原因過程條件等を擧げ次に其の恢復を述べ能率問題と關聯を保ちて良く力め良く遊ぶべきことを高唱したいと思ひます

四、睡眠の價値

一生の半を占むる睡眠が如何に大切なる意義を有つて居るか睡眠の時間や其の他夫れに關する一

般の注意すべき事項を書く積りです

五、職業と衛生

職業の相違によりて活動休養にも自から特別な注意を拂ふべきことを擧げたいと思ひます

六、生命の洗濯

心廣く體胖かなることが衛生保健の秘訣であることを説き厭世氣分を一掃して樂天的進取的氣分を發揮させたいと思ひます

保健と鍛鍊

一、健康の價値

健康が個人として一家として國家として如何に何物にも代へ難い尊いものであるかを述べ百斤の藥よりも一斤の健康を取るべきことを主張したいと思ひます

二、起てるから寝る迄

規律節度ある生活が保健衛生の大眼目であることを一日の生活に割りあて、叙説しやうと思ひます

三、體の鍛鍊

積極的衛生として各種の運動や沐浴や戶外生活や凡て之に關して必要なる點を擧げやうと思ひます

四、若き命の泉

積極衛生によつて早老を防ぎ潑潑たる元氣を續し得る所以を説かうと思ひます

五、智識から實行へ

保健衛生に關して確實なる智識を求め此の信條を基礎として信仰的熱心を以て實行に移らざるべからざる所以を述べやうと考へます

保健の障害

疾病の意義 其原因 治療と豫防 我國の死亡統計 小兒の死亡率 消化障害と肺炎 其豫防策 舶來病 海港檢疫 ペスト コレラの慘害 外圍の改善 天然痘 種痘 腸窒扶斯と赤痢 消毒 豫防注射 花柳病の危害 結核の蔓延 早期診断の價値 抵抗力の増進 チフテリア 血清療法 狂犬病の豫防 寄生蟲 マラリア ヒラリア 混蟲の危害 十二指腸蟲と蛔蟲 糞便の處置 無智と貧窮は萬病の基 法は人によりて生く 衛生機關の不備は保健の最大障害
斯克テ夫々執筆中ノ處大震災ノ爲一時頓挫ノ止ムナキニ至リタルヲ以テ更ニ大正十二年十二月七日午

後三時ヨリ東京帝國大學生理學教室ニ於テ編纂委員會ヲ開キ左記事項ヲ決定シ午後五時散會セリ

記

- 一、原稿ハ出來上リタルモノヨリ單行的ニ印刷スルコトヲ會ニ決メテ之ヲ開キ著者執筆ノマシ對來ノ豫定ノ
 - 一、每篇三四十頁(全篇二百五十乃至三百頁)見當トシ執筆スルコトトシ編輯ノ手ヲシテ之ヲ刊行スルコトヲ
 - 一、挿圖ハ簡單ナルモノヲ適當ニ入ル、コトトシテ之ヲ編輯ノ手ニ付テ之ヲ繪ルコトトシテ之ヲ刊行スルコトヲ
 - 一、挿圖潤筆料ハ内務省ヨリ支拂フコトトシテ之ヲ編輯ノ手ニ付テ之ヲ繪ルコトトシテ之ヲ刊行スルコトヲ
 - 一、文章ハ口語體トシ「デアル」程度トシ中等學校二三年修業者(高等小學卒業)ニハ理解サレ得ルヲ標準トスルコト
 - 一、紙面ノ大サハ四六版トスルコト
 - 一、字數ハ五號活字一頁約四〇〇字詰トスルコト
 - 一、所用原稿用紙ハ十行二十字詰ノモノヲ内務省ニ於テ準備シ委員ニ配布スルコト
 - 一、脱稿期ハ本年中トハ行カサルモノナルヘク明春早々トスルコト
 - 一、本書ノ題目ハ宿題トシテ考究スルコト
- 因ニ當日ノ出席者左ノ如シ

委員

三宅 秀 横手千代之助 永井 潜 宮島幹之助

幹事

湯澤三千男

技術官

氏原佐藏 南崎雄 七

三、花柳病豫防ニ關スル特別委員會

本特別委員會ハ大正十一年度ヨリ同十二年度ニ亘リ屢次開催審議ヲ進メツ、アルモ由來花柳病ノ豫防タル其ノ關係スル所多岐ニシテ其ノ影響スル所亦重大ナルヲ以テ未タ之ヲ具體案ノ決定ヲ見ズニ至ラスト雖現今迄ノ審議ノ結果ヲ要約スルニ本病ノ豫防ニ就テハ適當ナル方法ニ依リ宣傳ヲ行ヒ一般國民ノ自衛ヲ促スト共ニ各地ニ診療所若ハ相談所ノ如キ施設ノ普及ヲ圖リ一面之カ爲特別ノ法制ヲ布クヲ以テ最モ適切ナル方法ト認メツ、アリ而シテ本委員會モ大震災ノ爲一時停止ノヤムナキニ至リシカ更メテ大正十三年三月十五日午後一時ヨリ大日本私立衛生會ニ於テ之ヲ開キ湯澤幹事ヨリ從來ノ經過ヲ報告シ種々意見ノ交換アリシモ未タ決定ニ至ラス午後四時散會セリ、當日ノ出席者左ノ如シ

特別委員長 伯爵 柳澤保惠

委員 栗本庸勝 岡村龍彦

幹事 山田準次郎 内野仙一

湯澤三千男

技術官 高野六郎 氏原佐藏

佐藤正 南崎雄七

四、乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル特別委員會

本委員會ハ大正十一年十二月設置以來二回之ヲ開會シ種々意見ノ交換ヲナシタル後左記小委員ヲ舉ゲ基礎案ノ作製ヲナスコトニ決セリ

横手千代之助 高野岩三郎 古瀬安俊

唐澤光德 瀬川昌世

右小委員ハ其ノ後數回會議ヲ開キ審議ヲ續行セルモ未タ基礎案ノ決定ヲ見ルニ至ラス

五、運動武術競技等ニ關スル特別委員會

本特別委員會ハ大正十一年中數回會議ヲ重テ運動、競技、武術其他

積極的體力増進施設獎勵ニ關スル建議ノ提案ニ關シ之カ文案ノ作製審議ヲナスト共ニ大正十一年十一月二十四日開會ノ總會ノ決議ニ依リ之カ文案ノ整理ヲナシ内務大臣ニ面接シテ本建議ノ趣旨ニツキ陳述スル所アリタリ(第四章第三節總會議事大要參照)

大正十三年七月十日印刷
大正十三年七月十日發行

保健衛生調査會

印刷者 木島三代太郎

東京市淺草區南松山町四十六番地

印刷所 木島印刷所

東京市淺草區南松山町四十六番地

電話淺草四二八五番

